

後輩たちへのエール！ その38

2020年6月2日

【歌唱】 岐阜県立関高等学校校歌

◇今回は、武藤純代さんと中島久さんの歌唱、酒向紗弓さんの伴奏でお送りします！

先日のピアノ演奏に続き、本日は声楽家・指導者として長く地元の現場をささえていらっしゃる卒業生のおふたり、武藤純代さんと中島久さんが駆けつけてくださいました。まずはおふたりのご紹介です。

武藤純代 - 声楽

関高校を経て名古屋芸術大学音楽学部声楽科卒業。卒業後は恩師主宰の華音の会に所属し、名古屋市を中心にコンサートや創作オペレッタ等に出演。また岐阜県県民文化祭創作オペラや地元の創作音楽劇・ミュージカルのソリスト、合唱指導・歌唱指導者として活躍。現在は岐阜県立加茂高等学校コーラス部非常勤講師、女声コーラス Brillante 指揮・指導、美濃子どもミュージカルの代表・指導、等、幅広い年齢層の方と音楽の楽しみを分かち合っている。美濃市在住。（写真右から2人目）

武藤さんからのメッセージ

何十年か振りに校歌の楽譜を見て、「あ～こんな歌だった！」と思い出した次第です（笑）今は合唱することがなかなか厳しい時ですね。でも皆で声を合わせられる時が必ず来ると楽しみにしています。

中島久 - 声楽

関幼稚園、安桜小、緑ヶ丘中、関高校、河合塾、岐阜大学を経て、小中学校の理科教師になる。理科を専門とする傍ら、高校時代より始めた合唱の虜となり、卒業後も多くの合唱団で歌手、指揮者として活躍。声楽を藤井文子氏（広島県）に師事。関鍛冶の刀匠が種子島鉄砲を製造した歴史に基づく創作音楽劇「海波の歌」で、八板金兵衛（刀匠）役のソリストを務め、種子島公演、ポルトガル公演に参加。現在、田原小学校勤務。関市在住。（写真右から1人目）



中島さんからのメッセージ

私の関高校歌との出会いは、自分の高校合格発表のテレビ放送でした。個人情報秘密厳守の今と違って、当時は合格発表が岐阜放送で実名のテロップで流れたものでした。その時のBGMが、コーラス部の収録した校歌でした。自分や友達の名前を探す中、校歌が何回もリピートされたので、大体のメロディーはつかむ事ができました。また卒業後も、進学先の大学で入った合唱サークルで関高校歌を歌いました！？。新入生の卒業高校の校歌を大学生が歌って歓迎・勧誘するという習わしがあり、そこでも毎年歌っていたのです。(実は県内のいくつかの高校の校歌が歌えます)今の高校生活では、校歌自体に触れることが少なくなったと聞き、びっくりしました。校歌を歌い継ぐ者の一人として、皆さんに少しでも思い出したり覚えていただけたらと、今回の収録を行いました。

* * *

今回の撮影では通常の歌唱付きの演奏ともう一つ、Roland社提供のiOSアプリ《4XCAMERA》を利用し、前回の伴奏動画に合わせた結合映像も作成しました。遠方各地にお住まいの卒業生の方々にも、お手持ちのスマートフォンで気ままに自由に、懐かしいメロディーの記憶を辿り一緒にいただければとの期待を含みつつ。十代真っ盛りの在校生の皆さんもぜひ、学業の合間の時間にいかがでしょうか。

(企画・撮影 古田大地 / ピアノ 酒向紗弓)

関高百周年公式YouTubeアカウントです。

https://www.youtube.com/watch?v=8nJJg2AJC9U&feature=youtu.be&fbclid=IwAR1qTDqGcXiU5H7bCZhJ0Hn60B77sKZB5cwsDtCN597Xj6RyRITDc_zKf3Y

関高百周年特設サイトです。こちらからもぜひ。

https://seki100.com/report_03/